

## 5 外来診療

### (1) 外来患者の状況

#### ア 一般外来

##### (ア) 新患診療

外来担当医が 60 分 1 枠で、1 日 3 ～ 4 名の予約診療を行っている。初診者数は 422 件（2018 年度 472 件）であった。ここ数年は十勝圏外から専門医の診察を希望する発達障がいを受診者が増加している。

##### (イ) 再診診療

主治医制による診療と医師別の受け持ち看護体制で、個々の患者の継続看護をはじめ医療や生活などの相談・サポートを行っている。2017 年度より外来当直を導入し救急患者対応の充実を図っている。

診療においては、診察の流れを常に把握するとともに、緊急の診療や入院対応などで診察待ち時間が予定を超える場合は、おおよその待ち時間を掲示している。その他、診察時間を多く必要とする患者には、時間調整なども行っている。再来待ち時間は平均 31 分（2018 年度 33 分）であった。

##### (ウ) 地域との連携と地域生活へのサポート

入院患者の退院に向けた生活支援会議や、通院患者の地域生活を支援するケース会議に外来担当看護師が参加している。入院中に把握された課題や必要な看護など退院時看護情報を参照しながら、受診時における状況観察や相談などに対応している。またキーパーソンの把握に努め、退院後の支援体制や地域生活が継続できるよう、患者サポートに努めている。

警察・消防署（救急隊）・保健所・市町村のほか知的障がい者施設、救護施設、老人施設など地域における関係機関・施設と連携を図っている。

##### (エ) 心理教育プログラム

2015 年度から、家族教室を実施している。2019 年度は「コミュニケーション」をテーマに年 6 回実施し、延 13 名参加（2018 年度 21 名）。家族とともにコミュニケーションの工夫と行動に対する対処方法を学ぶことを目的に実施した。参加した家族からは家族が思いを語れる場があり良かったという感想が多く聞かれている。また一般外来待合室では、心理教育の一環として統合失調症、認知行動療法の DVD を貸し出しを行っている。今後も患者、家族の要望を取り入れながら、実施していく予定である。

##### (オ) 相談業務

家族からの相談（患者本人が受診に同意しない方のアドバイス等）対応のため、外来新患枠では精神保健相談（無料）を行っている。2019 年度は 8 件の相談があり、受診に繋がったケースは 3 件あった。（2018 年度は相談 5 件うち受診に繋がったケースは 0 件）。さらに医師が保健所で月 2 回精神保健相談を行っている。

看護師が対応した 2019 年度の電話による医療相談は、通院中の患者と新患合わせて 1498 件（2018 年度 1038 件）、生活相談は 2023 件（2018 年度 1733 件）、受診相談は 5155 件（2018

年 5757 件) となっており、看護師の外来当直導入に伴い、夜間、休日の受診、生活に関する相談件数が増加している。

(カ) 訪問看護

年々訪問看護の需要が高まり、対象者数及び訪問件数の増加もさることながら、患者の高齢化や単身生活者の増加などで、より個別的な対応や新たなニーズへの対応を求められている。訪問看護科と連携を図りながら、外来患者の情報共有を行い、外来診療や外来看護の充実を図っている。

イ 児童思春期外来

外来診療は、外部派遣医師 2 名を含め、5 名の医師で対応している。

(ア) 新規患者の受診状況 (2014~2019年)

○疾病別数

	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	
総患者数(名)	5287	6028	5817	5346	5309	5154	
新規患者数	330	346	322	301	308	237	
内訳	発達障害圏	279 (84.5%)	301 (86.9%)	269 (83.5%)	233 (77.4%)	258 (83.7%)	191 (80.6%)
	神経症圏	34 (10.3%)	38 (10.9%)	40 (12.4%)	65 (21.6%)	46 (14.9%)	46 (19.4%)
	精神病圏	2 (0.6%)	0 (0%)	6 (1.8%)	2 (0.6%)	2 (0.6%)	0 (0%)
	その他	15 (4.5%)	7 (2.0%)	7 (2.1%)	1 (0.3%)	2 (0.6%)	0 (0%)

○地域別数

	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
十勝	282	293	253	259	257	214
網走(北見)	10	6	33	27	32	11
釧路	22	14	20	9	10	11
根室	6	15	11	4	5	0
道外	0	0	0	0	0	0
その他	10	18	4	2	4	1

○年齢別数

	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
~3歳	29	29	21	10	22	15
就学前	108	89	43	42	64	47
小学校低学年	66	88	72	80	69	58
小学校高学年	72	71	71	61	67	50

中学生	51	66	99	107	80	67
高校生	1	2	15	1	6	0
18歳～	3	1	1	0	0	0

児童の新患や初診患者については、予約の段階で、個々の発達課題や受診目的などの相談を受け、年齢別(就学前、小学生、中学生)の3段階に区分し、医師ごとの予約制をとっている。2019年は総受診5154名、疾病別では、発達障がい圏80.6%、神経症圏19.4%の割合で発達障がい圏の患者が大半を占めている。受診者の地域別については網走、釧路からの新患が増えている。未就学児の新患受診者については、診察前に保育士が接し、発達の調査を行ったり、遊びや興味の特徴・言葉の発達などの診察に必要な情報を観察収集したりして医師に情報提供をしている。また母親に発達についてのアドバイスを行っている。

#### (イ) 発達障がい児の療育・発達外来

発達外来は保育士が担当し、現在はカウンセリングを中心に行っている。親に対し子供との関わり方をアドバイスしたり、子供に対し、困りごとなどの相談を受け、行動の仕方や対処方法をアドバイスしている。また、関係機関と連携を勧め、情報収集し、療育に役立てている。

#### (ウ) 地域連携

発達障がい児(者)の療育や学校等での課題を抱える事例に関しては、主治医に教師、保育士、福祉関係者、親などが入り、「ケース会議」と称してケースの対応方法の確認や、情報交換を行っている。2019年度は21件(2018年度33件)開催している。

#### (エ) 相談業務

予約制の導入により電話での受診相談が増えている。電話相談の多くは母親であるが、児童相談所や学校等の関係機関からも、専門医の診察や説明を求めるケースもある。

#### (オ) 中央材料室

当院では外来が中央材料室業務を担当しており、その業務を児童外来が担っている。安全性や、効率性に配慮した材料の購入、払い出しにつとめている。部屋の構造上、清潔な材料と、不潔な材料が交差しないように時間を調整し対応している。またコストを換算し、ディスプレイへの変更をすすめている。

### ウ 救急医療と応急入院

当院は、精神科救急システム事業に参加し、夜間・休日の救急患者に対応している。国立病院機構帯広病院が3分の1、当院が3分の2を担っている。2000年10月に応急入院指定病院として知事の指定を受け、2019年度は14件(2018年度22件)の応急入院に対応している。

a 外来患者数の推移(2010～2019年度)

(単位:人)

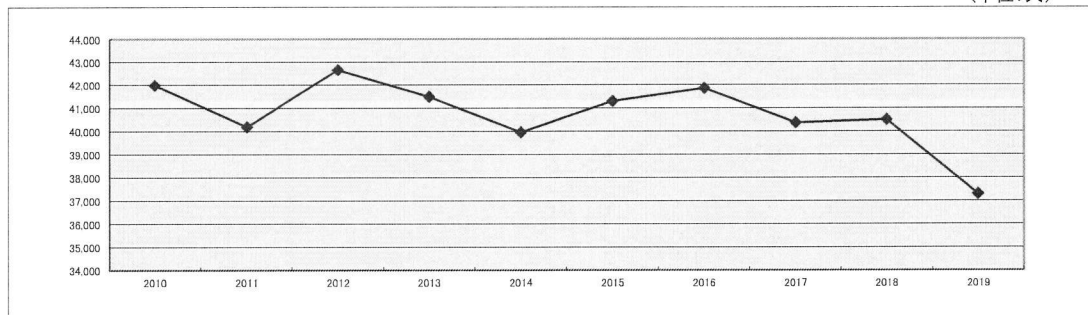
区 分	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019
延 外 来 患 者 数	41,984	40,196	42,660	41,501	39,960	41,309	41,855	40,370	40,511	37,300
一般外来患者数	36,572	34,259	32,805	32,444	31,048	31,975	33,149	31,421	31,769	28,938
児童外来患者数	5,164	5,937	5,599	5,515	5,561	6,107	5,857	5,361	5,320	5,170
(うち発達障害)	(460)	(371)	(283)	(339)	(383)	(358)	(266)	(377)	(376)	(209)
(うち睡眠外来患者数)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
デイケア			4,256	3,542	3,351	3,227	2,849	3,503	2,960	2,817
歯科外来患者数	227									
新外来患者数(再掲)	872	801	852	806	852	898	888	795	787	670
1日平均患者数	171.3	164.7	174.1	170.1	163.8	170.0	172.2	165.5	166.0	154.8
3月外来患者実数	2,721	2,586	2,489	2,506	2,565	2,700	2,640	2,538	2,558	2,347
年間外来患者実数	4,585	4,535	4,655	4,768	4,761	4,896	5,169	5,068	4,779	4,687
年間救急患者実数	318	258	297	237	285	300	322	330	321	215
(うち時間内患者数)	(38)	(25)	(25)	(20)	(14)	(32)	(27)	(35)	(25)	(25)
新患者数	50	26	25	36	31	36	46	31	44	42
再来患者数	284	268	232	272	181	254	264	276	299	171

救急システム患者数	128	133	52	76	77	99	117	96	72	66
-----------	-----	-----	----	----	----	----	-----	----	----	----

※2018年度から電話相談件数を含まず

b 年間延外来患者数の推移(2010～2019年度)

(単位:人)



(単位:人)

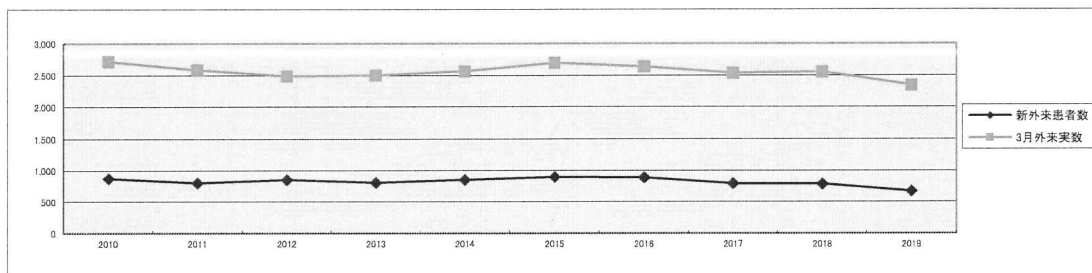
区分	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019
延外来患者数	41,984	40,196	42,660	41,501	39,960	41,309	41,855	40,370	40,511	37,300

c 年間新外来患者数と3月外来患者実数の推移(2010～2019年度)

(単位:人)

区 分	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019
新外来患者数	872	801	852	806	852	898	888	795	787	670
3月外来患者実数	2,721	2,586	2,489	2,506	2,565	2,700	2,640	2,538	2,558	2,347

(単位:人)



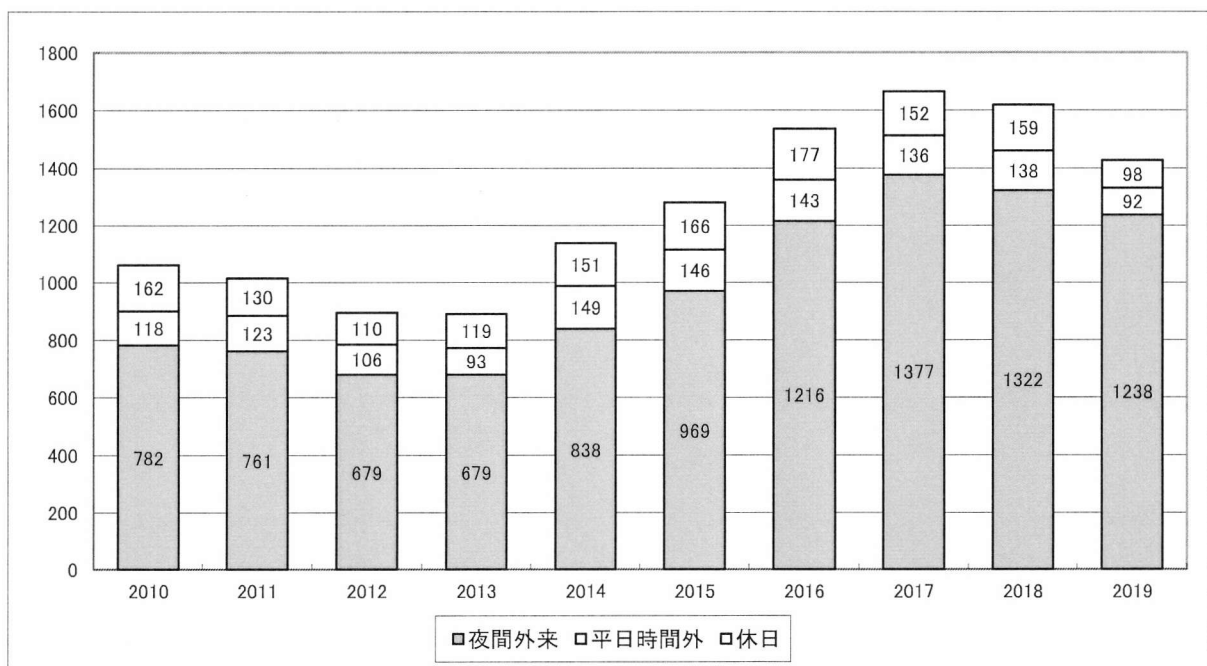
d 年齢別新外来患者数の推移(2010～2019年度)

(単位:人)

区分	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019
6歳未満	90	64	83	83	100	75	64	46	84	59
6歳～14歳	215	256	258	248	224	264	247	231	218	174
15歳～19歳	92	77	88	86	112	118	122	111	94	96
20歳～29歳	103	75	100	104	131	144	136	145	122	104
30歳～39歳	92	88	88	87	103	115	104	99	97	69
40歳～49歳	67	60	51	67	60	70	68	64	61	66
50歳～59歳	35	32	42	33	42	36	44	35	43	42
60歳～69歳	31	29	37	29	32	29	48	25	24	22
70歳以上	147	120	105	69	48	47	55	39	44	38
合計	872	801	852	806	852	898	888	795	787	670

e 休日・時間外診療および夜間外来患者数の推移(2010～2019年度)

(単位:人)



f 救急患者の受診内容等(2019年度)

(単位:人)

受診内容	
即入院	51 (23.7%)
受診のみ	163 (75.8%)
他医療機関転送	1 (0.5%)
計	215 (100%)

(単位:人)

来院の状態	
救急車のみ	68 (68.0%)
警察官同行	27 (27.0%)
その他	5 (5.0%)
計	100 (100%)

## g 疾患別新規外来患者数(2010～2019年度)

(単位:人)

区分		2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019
F0 症状性を含む器質性精神 障害	男	35	37	15	11	10	5	13	5	11	8
	女	60	49	42	32	7	13	14	9	4	5
	計	95	86	57	43	17	18	27	14	15	13
F1 精神作用物質使用による 精神及び行動の障害	男	11	10	12	7	9	12	8	9	8	6
	女	3	2	3	2	5	2	5	2	1	4
	計	14	12	15	9	14	14	13	11	9	10
F2 統合失調症、統合失調症型 障害及び妄想性障害	男	28	15	29	34	24	22	16	18	19	9
	女	32	26	32	28	23	13	20	17	20	13
	計	60	41	61	62	47	35	36	35	39	22
F3 気分障害 (感情)	男	44	39	41	28	40	43	53	37	34	40
	女	76	48	63	39	68	76	63	62	62	59
	計	120	87	104	67	108	119	116	99	96	99
F4 神経症性障害、ストレス関連 障害及び身体表現性障害	男	87	67	92	72	63	81	116	107	95	71
	女	126	91	83	92	89	120	135	130	136	116
	計	213	158	175	164	152	201	251	237	231	187
F5 生理的障害及び身体的要因 に関連した行動症候群	男	2	1	0	6	6	1	2	1	3	0
	女	7	4	6	4	5	8	3	10	8	5
	計	9	5	6	10	11	9	5	11	11	5
F6 成人の人格及び行動の障害	男	6	1	6	2	5	5	3	4	2	5
	女	6	1	1	4	3	2	5	0	1	4
	計	12	2	7	6	8	7	8	4	3	9
F7 精神遅滞	男	14	19	32	18	25	24	16	14	17	15
	女	12	8	18	11	15	18	13	9	12	10
	計	26	27	50	29	40	42	29	23	29	25
F8 心理的発達障害	男	161	198	186	220	240	212	181	186	171	153
	女	82	94	96	98	109	109	102	84	76	86
	計	243	292	282	318	349	321	283	270	247	239
F9 小児期及び青年期に通常発 症する行動及び情緒の障害	男	37	36	53	57	52	67	57	43	56	32
	女	21	19	16	15	19	22	22	18	19	9
	計	58	55	69	72	71	89	79	61	75	41
G 神経疾患	男	6	6	7	12	8	4	7	3	3	3
	女	6	6	4	7	5	13	2	5	8	6
	計	12	12	11	19	13	17	9	8	11	9
Z その他疾患	男	2	0	0	0	0	1	3	1	6	4
	女	4	0	0	0	0	0	2	0	1	5
	計	6	0	0	0	0	1	5	1	7	9
W 病院独自 (W1他科疾患・ W2詐病・W3健康者)	男	1	9	7	2	8	10	14	11	9	2
	女	3	15	8	5	14	15	13	10	5	0
	計	4	24	15	7	22	25	27	21	14	2
合 計	男	434	438	480	469	490	487	489	439	434	348
	女	438	363	372	337	362	411	399	356	353	322
	計	872	801	852	806	852	898	888	795	787	670

h 疾患別年齢別新規外来患者数

(単位:人)

区分・分類	6歳未満	～14歳	～19歳	～29歳	～39歳	～49歳	～59歳	～69歳	70歳以上	計	
F0 症状性を含む 器質性精神障害	00								4	4	
	01							1		1	
	02									0	
	03								4	4	
	04									0	
	05							1	2	3	
	06						1			1	
	07									0	
	08									0	
	09									0	
	計	0	0	0	0	0	1	0	2	10	13
F1 精神作用物質使用による 精神及び行動の障害	10			1	3	3		1	1	9	
	11									0	
	12									0	
	13									0	
	14									0	
	15									0	
	16									0	
	17									0	
	18									0	
	19				1					1	
計	0	0	0	2	3	3	0	1	1	10	
F2 統合失調症、統合失調 型障害及び妄想性障害	20			2	6	1	4	1	2	2	18
	21										0
	22										0
	23							2	1		3
	24										0
	25					1					1
	28										0
	29										0
計	0	0	2	6	2	4	3	3	2	22	
F3 気分障害 (感情)	30							1		1	
	31			1	1	2		1	1	6	
	32		2	4	9	14	10	7	5	8	59
	33										0
	34		1	5	7	5	7	5	1	2	33
	38										0
	39										0
計	0	3	10	17	21	17	12	8	11	99	
F4 神経症性障害、ストレス 関連障害及び身体表現 性障害	40		3	2	1	1	4	1		1	13
	41		4	7	5	5	6		2	2	31
	42		1	2		1					4
	43		12	27	22	16	9	8	1	3	98
	44		3	1							4
	45		5	3	1		1				10
	48		3	7	5	2	4	1	1	4	27
計	0	31	49	34	25	24	10	4	10	187	
F5 生理的障害及び身体的 要因に関連した行動症 候群	50		3	1	1						5
	51										0
	52										0
	53										0
	54										0
	55										0
	59										0
計	0	3	1	1	0	0	0	0	0	5	
F6 成人の人格及び行動の 障害	60				2		1	1			4
	61										0
	62										0
	63		3		1			1			5
	64										0
	65										0
	66										0
	68										0
	69										0
計	0	3	0	3	0	1	2	0	0	9	

区分・分類		6歳未満	～14歳	～19歳	～29歳	～39歳	～49歳	～59歳	～69歳	70歳以上	計
F7 精神遅滞	70					1					1
	71				1						1
	72	1									1
	73										0
	78										0
	79	1	3	5	5		3	5			22
	計	2	3	5	6	1	3	5	0	0	25
F8 心理的発達の障害	80										0
	81		1								1
	82										0
	83										0
	84	53	103	21	28	15	6	6			232
	88										0
	89		5	1							6
計	53	109	22	28	15	6	6	0	0	239	
F9 小児期及び青年期に通常発症する行動及び情緒の障害	90	4	19	3	5	1	4	2			38
	91		1								1
	92										0
	93										0
	94			1							1
	95			1							1
	98										0
	99										0
計	4	20	5	5	1	4	2	0	0	41	
G 神経疾患（てんかん） （睡眠障害） （他の神経疾患）	G0							1		1	2
	G7				2		1		2	2	7
	G9										0
	計	0	0	0	2	0	1	1	2	3	9
Z その他の疾患（他疾患） （精神鑑定）	Z0		2	2							4
	Z4					1	2	1	1		5
	計	0	2	2	0	1	2	1	1	0	9
W 病院独自コード（他科疾患） （詐病） （健康者）	W1								1	1	2
	W2										0
	W3										0
	計	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2
合 計		59	174	96	104	69	66	42	22	38	670

(2) 精神鑑定実施件数の推移（2010～2019年度）

区 分		6歳未満	～14歳	～19歳	～29歳	～39歳	～49歳	～59歳	～69歳	70歳以上	合計
2010	男							1		2	3
	女										0
計		0	0	0	0	0	0	1	0	2	3
2011	男										0
	女						1				1
計		0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
2012	男										0
	女										0
計		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2013	男										0
	女									1	1
計		0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
2014	男						2	1	1		4
	女						1				1
計		0	0	0	0	0	3	1	1	0	5
2015	男					1		1	1		3
	女						1	1			2
計		0	0	0	0	1	1	2	1	0	5
2016	男				1					1	2
	女				2	1					3
計		0	0	0	3	1	0	0	0	1	5
2017	男					1			1		2
	女				1						1
計		0	0	0	1	1	0	0	1	0	3
2018	男				1	2	3	1		1	8
	女							1	1		2
計		0	0	0	1	2	3	2	1	1	10
2019	男					1	1		1		3
	女						1	1			2
計		0	0	0	0	1	2	1	1	0	5



## (3) 年度末月外来患者の状況 (2010~2019年度)

## ア 疾患別3月外来患者数

区分		2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019
F0 症状性を含む器質性精神 障害	男	52	35	24	21	14	14	17	18	18	15
	女	116	98	65	54	42	27	21	18	15	13
	計	168	133	89	75	56	41	38	36	33	28
F1 精神作用物質使用による 精神及び行動の障害	男	35	37	36	33	30	29	34	31	31	23
	女	7	8	4	6	11	10	10	12	8	7
	計	42	45	40	39	41	39	44	43	39	30
F2 統合失調症、統合失調型障 及び妄想性障害	男	408	378	375	381	360	350	347	337	334	310
	女	452	422	422	399	391	379	372	352	334	311
	計	860	800	797	780	751	729	719	689	668	621
F3 気分障害 (感情)	男	244	234	232	203	203	223	216	209	215	167
	女	335	322	309	297	305	335	321	316	322	270
	計	579	556	541	500	508	558	537	525	537	437
F4 神経症性障害、ストレス関連 障害及び身体表現性障害	男	140	114	115	130	124	130	148	156	140	125
	女	212	197	182	197	180	239	223	245	243	229
	計	352	311	297	327	304	369	371	401	383	354
F5 生理的障害及び身体的要因 に関連した行動症候群	男	30	31	27	22	23	20	21	16	20	16
	女	47	37	35	36	33	34	40	41	39	33
	計	77	68	62	58	56	54	61	57	59	49
F6 成人の人格及び行動の障害	男	11	7	10	8	10	9	12	9	10	12
	女	10	9	8	8	7	9	4	4	4	3
	計	21	16	18	16	17	18	16	13	14	15
F7 精神遅滞	男	39	35	39	31	46	46	55	48	47	60
	女	22	21	26	19	23	31	27	29	26	32
	計	61	56	65	50	69	77	82	77	73	92
F8 心理的発達の障害	男	213	237	228	256	311	331	299	270	319	306
	女	91	101	98	109	138	159	161	145	140	145
	計	304	338	326	365	449	490	460	415	459	451
F9 小児期及び青年期に通常発 症する行動及び情緒の障害	男	26	41	45	58	71	80	73	72	77	72
	女	13	23	19	23	28	28	27	22	24	20
	計	39	64	64	81	99	108	100	94	101	92
G0 (神経疾患) てんかん	男	110	93	89	99	95	91	97	89	87	72
	女	76	58	56	67	63	66	63	59	62	50
	計	186	151	145	166	158	157	160	148	149	122
G7 (神経疾患) 睡眠障害	男	6	4	3	4	5	5	5	6	4	3
	女	6	3	1	2	5	9	7	0	5	9
	計	12	7	4	6	10	14	12	6	9	12
G9 (神経疾患) その他神経疾患	男	0	0	3	6	3	3	2	1	2	1
	女	0	0	0	1	0	1	0	0	2	2
	計	0	0	3	7	3	4	2	1	4	3
Z その他疾患	男	0	0	0	0	0	0	1	0	1	6
	女	0	0	0	0	0	0	1	0	0	6
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	1	12
W 病院独自 (W1他科疾患・ W2詐病・W3健康者)	男	9	25	25	20	23	26	24	20	18	19
	女	11	16	13	16	21	16	12	13	11	10
	計	20	41	38	36	44	42	36	33	29	29
合 計	男	1,323	1,271	1,251	1,272	1,318	1,357	1,351	1,282	1,323	1,207
	女	1,398	1,315	1,238	1,234	1,247	1,343	1,289	1,256	1,235	1,140
	計	2,721	2,586	2,489	2,506	2,565	2,700	2,640	2,538	2,558	2,347

イ 疾患別年齢別3月外来患者数

区分		6歳未満	6～14	15～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70歳以上	計
F0 症状性を含む器質性精神障害	男					3	0	2	1	9	15
	女						1		1	11	13
	計	0	0	0	0	3	1	2	2	20	28
F1 精神作用物質使用による精神及び行動の障害	男				1	1	5	7	6	3	23
	女					1	4	2			7
	計	0	0	0	1	2	9	9	6	3	30
F2 統合失調症、統合失調型障害及び妄想性障害	男		1	3	10	29	67	91	80	29	310
	女			2	9	26	71	72	59	72	311
	計	0	1	5	19	55	138	163	139	101	621
F3 気分障害 (感情)	男		1	2	12	20	34	39	34	25	167
	女		1	9	23	35	37	43	50	72	270
	計	0	2	11	35	55	71	82	84	97	437
F4 神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害	男		13	21	22	16	23	12	8	10	125
	女		8	39	36	30	43	29	16	28	229
	計	0	21	60	58	46	66	41	24	38	354
F5 生理的障害及び身体的要因に関連した行動症候群	男			1		1	2	5	4	3	16
	女		2	6	2	4	4	7	3	5	33
	計	0	2	7	2	5	6	12	7	8	49
F6 成人の人格及び行動の障害	男		1	1		2	1	5	2		12
	女		1					1	1		3
	計	0	2	1	0	2	1	6	3	0	15
F7 精神遅滞	男	1	3	4	9	11	15	6	5	6	60
	女		1	2	5	8	7	6	3		32
	計	1	4	6	14	19	22	12	8	6	92
F8 心理的発達の障害	男	10	133	61	49	21	23	7	2		306
	女	1	50	32	28	20	10	3		1	145
	計	11	183	93	77	41	33	10	2	1	451
F9 小児期及び青年期に通常発症する行動及び情緒の障害	男	1	38	10	9	8	6				72
	女	1	7	5	3	1	3				20
	計	2	45	15	12	9	9	0	0	0	92
G0 (神経疾患) てんかん	男			2	1	9	21	26	8	5	72
	女				3	6	10	16	6	9	50
	計	0	0	2	4	15	31	42	14	14	122
G7 (神経疾患) 睡眠障害	男			1			2				3
	女					4	1		2	2	9
	計	0	0	1	0	4	3	0	2	2	12
G9 (神経疾患) その他神経疾患	男							1			1
	女		2								2
	計	0	2	0	0	0	0	1	0	0	3
Z その他疾患	男			1	1		1		2	1	6
	女		1	3			1		1		6
	計	0	1	4	1	0	2	0	3	1	12
W 病院独自 (W1他科疾患・ W2詐病・W3健康者)	男		1				2	9	5	2	19
	女				1	1	1	3	1	3	10
	計	0	1	0	1	1	3	12	6	5	29
合計	男	12	191	107	114	121	202	210	157	93	1,207
	女	2	73	98	110	136	193	182	143	203	1,140
	計	14	264	205	224	257	395	392	300	296	2,347

ウ 疾患別帯広保健所・支所別3月外来患者数

区分・分類		帯広保健所		広尾支所	新得支所	本別支所	十勝管外	計
		市内	市外					
F0 症状性を含む器質性精神 障害	男	4	11					15
	女	4	9					13
	計	8	20	0	0	0	0	28
F1 精神作用物質使用による 精神及び行動の障害	男	16	7					23
	女	6	1					7
	計	22	8	0	0	0	0	30
F2 統合失調症、統合失調型障 害及び妄想性障害	男	164	96	11	19	14	6	310
	女	158	121	1	14	14	3	311
	計	322	217	12	33	28	9	621
F3 気分障害 (感情)	男	74	69	3	8	7	6	167
	女	89	143	4	15	11	8	270
	計	163	212	7	23	18	14	437
F4 神経症性障害、ストレス関連 障害及び身体表現性障害	男	44	52	3	3	7	16	125
	女	85	103	3	12	7	19	229
	計	129	155	6	15	14	35	354
F5 生理的障害及び身体的要因 に関連した行動症候群	男	5	10				1	16
	女	10	19		1	1	2	33
	計	15	29	0	1	1	3	49
F6 成人の人格及び行動の障害	男	7	3			1	1	12
	女	1	2					3
	計	8	5	0	0	1	1	15
F7 精神遅滞	男	32	20	1	2	3	2	60
	女	16	13			2	1	32
	計	48	33	1	2	5	3	92
F8 心理的発達の障害	男	130	103	5	16	8	44	306
	女	68	50	3	6	2	16	145
	計	198	153	8	22	10	60	451
F9 小児期及び青年期に通常発 症する行動及び情緒の障害	男	29	26	2	4	1	10	72
	女	8	5	1	1	1	4	20
	計	37	31	3	5	2	14	92
G0 (神経疾患) てんかん	男	44	26			2		72
	女	29	18	1	1	1		50
	計	73	44	1	1	3	0	122
G7 (神経疾患) 睡眠障害	男	2	1					3
	女	3	6					9
	計	5	7	0	0	0	0	12
G9 (神経疾患) その他神経疾患	男		1					1
	女		2					2
	計	0	3	0	0	0	0	3
Z その他疾患	男	1	5					6
	女	3	2				1	6
	計	4	7	0	0	0	1	12
W 病院独自 (W1他科疾患・ W2詐病・W3健康者)	男	9	10					19
	女	7	3					10
	計	16	13	0	0	0	0	29
合 計	男	561	440	25	52	43	86	1,207
	女	487	497	13	50	39	54	1,140
	計	1,048	937	38	102	82	140	2,347

## 6 入院診療

### (1) 入院患者の状況

延べ入院患者数は21,100人で、対前年度2,118人(△9.2%)の減、1日平均患者数は57.8人で、対前年度5.8人の減となっている。

入院した患者の数は337人で、この内訳は、新入院が270人、再入院が67人であり、再入院が24.8%を占めている。

退院した患者の数は351人で、対前年度16人(4.4%)の減となっている。

病床利用率は53.9%で、前年度を7.5ポイント上回っている。(運用病床数77床で算出)

平均在院日数は60日で、対前年度2日縮小している。病床回転率は595.1%となっている。

### ア 年間の患者動態

#### a 延入院患者数・平均在院患者数・入退院患者数・病床回転率・病床利用率の推移(2010～2019年度)

区 分	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019
延入院患者数	57,847	54,715	53,760	51,423	44,505	38,051	32,030	24,736	23,218	21,100
平均在院患者	158.5	149.5	147.3	140.9	121.9	104	87.8	67.8	63.6	57.8
入院患者数	436	420	427	450	553	637	522	408	376	337
初回入院患者	336	321	330	332	415	509	435	353	313	270
再入院患者	100	99	97	118	138	128	87	55	63	67
退院患者数	456	413	436	469	568	645	567	399	367	351
病床回転率 %	281.4	278.6	292.9	326.1	459.8	616.3	620.1	595.1	584.1	595.1
病床利用率	73.4	79.9	78.7	75.3	65.2	75.9	64.1	49.5	46.4	53.9

※ 病床回転率=(入院患者数+退院患者数)÷2÷平均在院患者数×100

#### b 平均在院日数の推移(2010～2019年度)

区 分	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019
緑ヶ丘病院	129	130	123	110	78	58	58	60	62	60
十勝圏域	141	143	133	129	108	93	97	105	99	97
北海道	301	289	279	271	266	261	261	259	259	259
全国	301	298	292	284	281	275	270	268	266	265

#### c 平均残存率

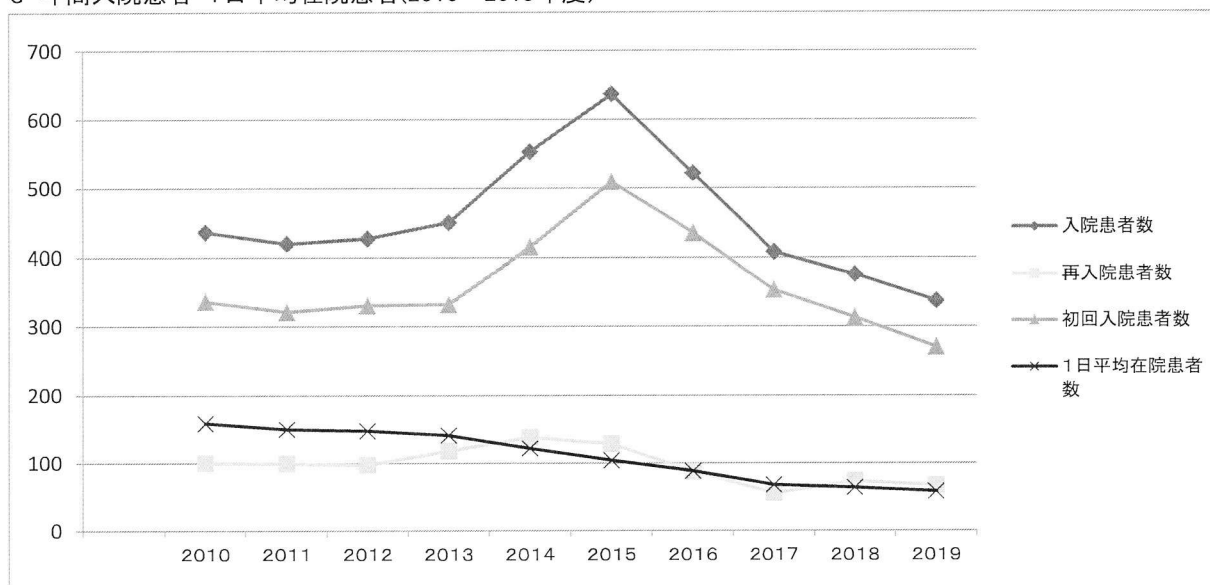
区 分	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019
平均残存率	14.9%	13.7%	13.9%	16.1%	12.0%	11.0%	10.9%	11.7%	11.9%	12.9%
1年間で入院した患者の在院日数総計	23,738	21,010	21,738	26,395	24,284	25,681	20,686	17,403	16,312	15,978
1年間で入院した患者数	436	420	427	450	553	637	522	408	376	337

#### d 退院率(1年以上群)

区 分	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019
退院率	22.7%	26.1%	29.0%	40.6%	55.3%	32.4%	44.0%	22.2%	28.6%	73.3%
基準日における1年以上入院患者	75	69	69	64	47	34	25	18	14	15
翌年3月末日までに退院した患者数	17	18	20	26	26	11	11	4	4	11

※基準日:3月31日

e 年間入院患者・1日平均在院患者(2010～2019年度)



年間入院患者・1日平均在院患者(2010～2019年度)

(単位:人)

区分	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019
入院患者数	436	420	427	450	553	637	522	408	376	337
再入院患者数	100	99	97	118	138	128	87	55	73	67
初回入院患者数	336	321	330	332	415	509	435	353	313	270
1日平均在院患者数	158.5	149.5	147.3	140.9	121.9	104.0	87.8	67.8	63.6	57.8

(2) 入退院時の状況

ア 入院時の入院形態(2010～2019年度)

(単位:人)()は構成比%

区分	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019
措置入院	4(0.9)	6(1.4)	3(0.7)	1(0.2)	0(0.0)	4(0.6)	1(0.2)	2(0.5)	2(0.5)	0(0.0)
医療保護入院	173(39.7)	188(44.8)	147(34.5)	134(29.8)	178(32.2)	279(43.8)	259(49.6)	231(56.6)	201(53.5)	188(55.8)
任意入院	253(58.0)	222(52.9)	270(63.2)	305(67.8)	356(64.4)	331(52.0)	249(47.7)	163(40.0)	150(39.9)	133(39.5)
その他	6(1.4)	4(0.9)	7(1.6)	10(2.2)	19(3.4)	23(3.6)	13(2.5)	12(2.9)	23(6.1)	16(4.7)
合計	436(100.0)	420(100.0)	427(100.0)	450(100.0)	553(100.0)	637(100.0)	522(100.0)	408(100.0)	376(100.0)	337(100.0)

イ 経路別新入院患者の推移(2010～2019年度)

(単位:人)()は構成比%

区分	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019
本人自らの希望	15(9.2)	14(9.4)	11(8.3)	17(13.5)	27(15.2)	26(12.2)	25(14.6)	10(8.2)	13(11.3)	11(12.2)
家族や同僚に連れられて	94(57.7)	80(53.8)	81(61.3)	78(61.9)	98(55.0)	132(62.0)	89(52.1)	66(54.1)	65(56.4)	32(35.5)
保健所福祉事務所等の紹介	4(2.4)	2(1.3)	4(3.0)	3(2.4)	2(1.1)	4(1.9)	4(2.3)	1(0.8)	1(0.9)	2(2.2)
他精神科医療機関の紹介	16(9.8)	16(10.7)	9(6.8)	2(1.6)	7(3.9)	5(2.3)	9(5.3)	14(11.5)	5(4.4)	5(5.6)
精神科以外の医療機関紹介	19(11.7)	13(8.7)	11(8.3)	4(3.2)	6(3.4)	5(2.3)	12(7.0)	6(4.9)	7(6.1)	14(15.6)
警察や消防署の保護紹介	15(9.2)	24(16.1)	16(12.1)	21(16.7)	35(19.7)	33(15.5)	24(14.0)	24(19.7)	19(16.5)	23(25.6)
不起訴後受診	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	1(0.7)	1(0.6)	5(2.3)	3(1.8)	1(0.8)	0(0.0)	1(1.1)
その他	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	2(1.1)	3(1.5)	5(2.9)	0(0.0)	5(4.4)	2(2.2)
計	163(100)	149(100)	132(100)	126(100)	178(100)	213(100)	171(100)	122(100)	115(100)	90(100)

ウ 休日・時間外の救急対応による入院の状況(2019年度)

(単位:人)

区 分		2019 4月	2019 5月	2019 6月	2019 7月	2019 8月	2019 9月	2019 10月	2019 11月	2019 12月	2020 1月	2020 2月	2020 3月	計	
全入院患者数		39	27	26	45	27	19	29	24	32	12	33	24	337	
入院患者のうち休日・時間外の入院	計	休日	4		1			1	1			1	2	1	11
		土曜日		4		3								1	8
		夜間	1	4	4	5	4	2		2	4		5	3	34
		計	5	8	5	8	4	3	1	2	4	1	7	5	53
	使用した病室	隔離室	5	3	3	6	3	2	1	2	4	1	6	5	41
		個室		5	2	1	1	1							10
		多床室				1							1		2

エ 在院期間別退院患者数の推移(2010~2019年度)

(単位:人)

区 分	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019
1月未満	194	204	192	190	262	335	265	175	163	143
2~3月未満	166	119	143	160	204	235	259	199	170	165
3~6月未満	59	45	57	61	46	45	18	17	19	33
6月~1年未満	22	19	20	24	22	18	14	2	6	7
1~3年未満	9	19	13	19	19	4	5	5	2	1
3~5年未満	4	3	3	2	4	1	0	1	4	1
5~10年未満	1	2	6	11	6	5	5	0	2	0
10年以上	1	2	2	2	5	2	1	0	1	1
計	456	413	436	469	568	645	567	399	367	351

オ 在院期間別退院先別患者数(2019年度)

(単位:人)

区 分	1月未 満	2~3 月未 満	3~6 月未 満	6月~1 年未 満	1~3 年未 満	3~5 年未 満	5~10 年未 満	10年 以上	計
単身生活	41	39	8	1	0	0	0	0	89
家族と同居	60	62	10	1	0	0	0	0	133
共同生活	28	40	12	3	0	0	0	0	83
老人施設	10	20	3	1	1	1		1	37
転院	4	3	0	1	0	0	0	0	8
死亡	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	143	164	33	7	1	1	0	1	350

(鑑定入院1名含まず)

### (3) 年度末在院患者の状況

ア 年度末(3月31日)疾患別在院患者数の推移(2010～2019年度)

(単位:人) ()は構成比%

区 分・分 類	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019
F0 症状性を含む器質性精神障害	8	9	4	1	5	2	0	0	0	2
	(5.6)	(5.9)	(2.8)	0.8130081	(4.6)	(2.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(3.3)
F1 精神作用物質使用による精神及び行動の障害	3	5	6	3	4	4	2	2	3	0
	(2.1)	(3.3)	(4.2)	2.4390244	(3.7)	(4.0)	(3.6)	(3.1)	(4.1)	(0.0)
F2 統合失調症、分裂病型障害及び妄想性障害	106	107	100	78	64	55	28	42	43	35
	(73.5)	(69.9)	(70.4)	63.414634	(59.3)	(55.0)	(50.9)	(65.6)	(58.9)	(57.4)
F3 気分障害(感情)	15	15	14	17	15	20	11	7	11	12
	(10.4)	(9.8)	(9.9)	13.821138	(13.9)	(20.0)	(20.0)	(10.9)	(15.1)	(19.7)
F4 神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害	7	7	4	6	6	5	6	5	4	2
	(4.9)	(4.6)	(2.8)	4.8780488	(5.6)	(5.0)	(10.9)	(7.8)	(5.5)	(3.3)
F5 生理的障害及び身体的要因に関連した行動症候群	0	1	0	0	1	1	0	1	0	0
	(0.0)	(0.6)	(0.0)	0	(0.9)	(1.0)	(0.0)	(1.6)	(0.0)	(0.0)
F6 成人の人格及び行動の障害	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1
	(0.6)	(0.0)	(0.0)	0.8130081	(0.0)	(0.0)	(1.8)	(0.0)	(0.0)	(1.6)
F7 精神遅滞	1	0	1	1	4	1	2	1	2	1
	(0.7)	(0.0)	(0.7)	0.8130081	(3.7)	(1.0)	(3.6)	(1.6)	(2.7)	(1.6)
F8 心理的発達障害	3	7	11	14	5	10	4	5	6	5
	(2.1)	(4.6)	(7.7)	11.382114	(4.6)	(10.0)	(7.3)	(7.8)	(8.2)	(8.2)
F9 小児期及び青年期に通常発症する行動及び情緒の障害	0	0	1	1	1	0	1	1	4	3
	(0.0)	(0.0)	(0.7)	0.8130081	(0.9)	(0.0)	(1.8)	(1.6)	(5.5)	(4.9)
G 神経疾患(てんかん)	1	2	1	1	3	2	0	0	0	0
	(0.7)	(1.3)	(0.7)	0.8130081	(2.8)	(2.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)
合 計	144	153	142	123	108	100	55	64	73	61
	(100.0)	(100.0)	(100.0)	(100.0)	(100.0)	(100.0)	(100.0)	(100.0)	(100.0)	(100.0)

イ 年度末(3月31日)入院形態別在院患者数の推移(2010～2019年度)

(単位:人)

()は構成比%

	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019
措置入院	0(0.0)	2(1.3)	1(0.7)	0(0.0)	0(0.0)	1(1.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
医療保護入院	75(52.1)	74(48.4)	65(45.8)	46(37.4)	51(47.2)	42(42.0)	37(67.3)	47(73.4)	47(64.4)	43(70.5)
任意入院	69(47.9)	77(50.3)	76(53.5)	77(62.6)	57(52.8)	57(57.0)	18(32.7)	17(26.6)	26(35.6)	18(29.5)
その他	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
合計	144(100.0)	153(100.0)	142(100.0)	123(100.0)	108(100.0)	100(100.0)	55(100.0)	64(100.0)	73(100.0)	61(100.0)

ウ 年度末(3月31日)帯広保健所・支所別在院患者数の推移(2010～2019年度)

(単位:人)

()は構成比%

区分	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019
本所	125(86.7)	130(85.0)	115(81.0)	94(76.4)	83(76.9)	77(77.0)	40(72.7)	55(85.9)	59(80.8)	49(80.3)
本別支所	5(3.5)	4(2.6)	6(4.2)	7(5.7)	9(8.3)	8(8.0)	4(7.3)	2(3.1)	2(2.7)	0(0.0)
新得支所	6(4.2)	11(7.2)	9(6.4)	9(7.3)	7(6.5)	5(5.0)	3(5.5)	3(4.7)	3(4.1)	5(8.2)
広尾支所	4(4.2)	4(2.6)	4(2.8)	4(3.3)	5(4.6)	3(3.0)	1(1.8)	0(0.0)	1(1.4)	2(3.3)
管外	4(4.2)	4(2.6)	8(5.6)	9(7.3)	4(3.7)	7(7.0)	7(12.7)	4(6.3)	8(11.0)	5(8.2)
合計	144(100.0)	153(100.0)	142(100.0)	123(100.0)	108(100.0)	100(100.0)	55(100.0)	64(100.0)	73(100.0)	61(100.0)

エ 年度末(3月31日)年齢別在院患者数の推移(2010～2019年度)

(単位:人)()は構成比%

区分	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019
6歳未満	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
6～14歳	0(0.0)	4(2.6)	1(0.7)	2(1.6)	4(3.7)	1(1.0)	2(3.6)	4(6.3)	4(5.5)	3(4.9)
15～19歳	1(0.7)	3(2.0)	4(2.8)	8(6.5)	7(6.5)	6(6.0)	1(1.8)	1(1.6)	2(2.7)	4(6.6)
20～29歳	5(3.5)	3(2.0)	8(5.6)	9(7.3)	4(3.7)	7(7.0)	10(18.2)	3(4.7)	5(6.8)	8(13.1)
30～39歳	12(8.3)	17(11.1)	15(10.6)	13(10.6)	12(11.1)	14(14.0)	5(9.1)	7(10.9)	11(15.1)	3(4.9)
40～49歳	17(11.8)	19(12.4)	23(16.2)	18(14.6)	15(13.9)	17(17.0)	6(10.9)	10(15.6)	9(12.3)	9(14.8)
50～59歳	32(22.2)	31(20.2)	26(18.3)	22(17.9)	20(18.5)	14(14.0)	8(14.5)	10(15.6)	11(15.1)	12(19.7)
60～69歳	42(29.2)	43(28.1)	44(31.0)	37(30.1)	26(24.1)	22(22.0)	15(27.4)	15(23.4)	15(20.6)	11(18.0)
70歳以上	35(24.3)	33(21.6)	21(14.8)	14(11.4)	20(18.5)	19(19.0)	8(14.5)	14(21.9)	16(21.9)	11(18.0)
計	144(100.0)	153(100.0)	142(100.0)	123(100.0)	108(100.0)	100(100.0)	55(100.0)	64(100.0)	73(100.0)	61(100.0)

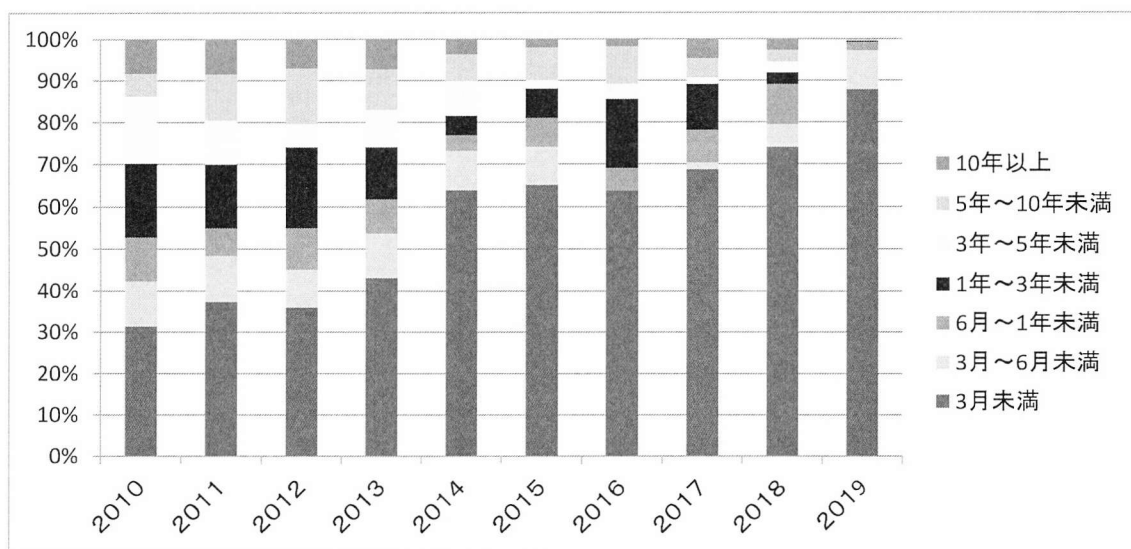
オ 年度末(3月31日)男女別・在院期間別患者数の推移(2010～2019年度)

(単位:人)()は構成比%

区分	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	
3月未満	男	23(27.3)	21(24.7)	32(37.2)	20(16.3)	25(23.1)	37(37.0)	17(30.9)	21(32.8)	30(41.1)	16(26.1)
	女	22(36.7)	36(52.9)	19(33.9)	33(26.8)	44(40.7)	28(28.0)	18(32.7)	23(35.9)	24(32.9)	25(41.0)
	計	45(31.3)	57(37.3)	51(35.9)	53(43.1)	69(63.9)	65(65.0)	35(63.6)	44(68.8)	54(74.0)	41(67.1)
3月～6月未満	男	6(7.1)	14(16.5)	5(5.8)	7(5.7)	8(7.4)	5(5.0)	0(0.0)	1(1.6)	0(0.0)	4(6.6)
	女	7(11.7)	3(4.4)	8(14.3)	6(4.9)	2(1.9)	4(4.0)	0(0.0)	0(0.0)	4(5.5)	2(3.3)
	計	13(9.0)	17(11.1)	13(9.2)	13(10.6)	10(9.3)	9(9.0)	0(0.0)	1(1.6)	4(5.5)	6(9.9)
6月～1年未満	男	13(15.5)	7(8.2)	7(8.1)	8(6.5)	1(0.9)	4(4.0)	2(3.7)	4(6.3)	6(8.2)	3(4.9)
	女	4(6.7)	3(4.4)	7(12.5)	2(1.6)	3(2.8)	3(3.0)	1(1.8)	1(1.6)	1(1.4)	2(3.3)
	計	17(11.8)	10(6.5)	14(9.9)	10(8.1)	4(3.7)	7(7.0)	3(5.5)	5(7.8)	7(9.6)	5(8.2)
1年～3年未満	男	16(19.0)	14(16.5)	17(19.8)	10(8.1)	2(1.9)	4(4.0)	7(12.7)	5(7.8)	2(2.7)	2(3.3)
	女	10(16.7)	9(13.2)	10(17.9)	5(4.1)	3(2.8)	3(3.0)	2(3.7)	2(3.1)	0(0.0)	2(3.3)
	計	26(18.1)	23(15.0)	27(19.0)	15(12.2)	5(4.6)	7(7.0)	9(16.4)	7(10.9)	2(2.7)	4(6.6)
3年～5年未満	男	16(19.0)	11(12.9)	6(7.0)	9(7.3)	8(7.4)	2(2.0)	1(1.8)	0(0.0)	2(2.7)	1(1.6)
	女	7(11.7)	5(7.4)	2(3.6)	2(1.6)	1(0.9)	0(0.0)	1(1.8)	1(1.6)	0(0.0)	0(0.0)
	計	23(16.0)	16(10.5)	8(5.6)	11(8.9)	9(8.3)	2(2.0)	2(3.6)	1(1.6)	2(2.7)	1(1.6)
5年～10年未満	男	3(3.6)	12(14.1)	14(16.3)	9(7.3)	5(4.6)	7(7.0)	5(9.1)	3(4.7)	1(1.4)	2(3.3)
	女	2(3.3)	5(7.4)	5(8.9)	3(2.5)	2(1.9)	1(1.0)	0(0.0)	0(0.0)	1(1.4)	1(1.6)
	計	5(3.5)	17(11.1)	19(13.4)	12(9.8)	7(6.5)	8(8.0)	5(9.1)	3(4.7)	2(2.7)	3(5.0)
10年以上	男	7(8.3)	6(7.1)	5(5.8)	5(4.1)	3(2.8)	1(1.0)	0(0.0)	2(3.1)	1(1.4)	1(1.6)
	女	8(5.6)	7(10.3)	5(8.9)	4(3.2)	1(0.9)	1(1.0)	1(1.8)	1(1.6)	1(1.4)	0(0.0)
	計	15(10.4)	13(8.5)	10(7.0)	9(7.3)	4(3.7)	2(2.0)	1(1.8)	3(4.7)	2(2.7)	1(1.6)
合計	男	84(100.0)	85(100.0)	86(100.0)	68(55.3)	52(48.1)	60(60.0)	32(58.2)	36(56.3)	42(57.5)	29(47.5)
	女	60(100.0)	68(100.0)	56(100.0)	55(44.7)	56(51.9)	40(40.0)	23(41.8)	28(43.7)	31(42.5)	32(52.5)
	計	144(100.0)	153(100.0)	142(100.0)	123(100.0)	108(100.0)	100(100.0)	55(100.0)	64(100.0)	73(100.0)	61(100.0)



カ 年度末在院患者の在院期間別構成の推移(2010～2019年度)



(4) 入院患者の行動制限等の状況(2019年度)

ア 行動制限の状況

項目	入院形態別	件数
退院要求	任意入院者	1件
	医療保護入院者	1件
	措置入院者	0件
		0件
うち退院制限		1件
退院請求と処遇改善請求		0件
入院形態の告知延期		1件

イ 電話・面会・身体拘束等の状況

項目	件数	人数
電話の発受制限	179件	8名
面会の制限	0件	0名
身体拘束	2,820件	118名

ウ 保護室の使用状況

項目	件数	人数
隔離室12時間以上	2,858件	226名
隔離室12時間未満	581件	179名

エ 死亡の状況

項目	人数	
入院中死亡	病死	0名
	事故死	0名

オ 無断退去等の状況

項目	延件数	実人数
無断退去	0件	0名
無断外出	0件	0名

CLIP離院レベル2以上

## (5) 各病棟の診療活動

### ア 第1病棟（児童・思春期一男女混合閉鎖15床、成人一男女混合閉鎖45床）

#### (ア) 主な機能

##### ・児童・思春期病棟

3床室1室、2床室4室、観察室2室と隔離室2室を備え、18歳未満の児童・思春期を対象とした閉鎖病棟である。観察室を使用する身体管理の必要な成人患者も受け入れている。

##### ・成人病棟

4床9室、3床2室、隔離室1室、観察室1室を備えている。長期入院者の病状安定と社会復帰に向けた支援、3ヶ月未満再入院患者やスーパー救急病棟からの回復期患者の受け入れ、気分障害圏の休息を目的とした入院の受け入れなどの役割を担っている。

#### (イ) 患者の状況

##### ・児童・思春期病棟

令和元年度児童病棟入院患者数は8名であり、患者の平均年齢は13.1歳である。87.5%が発達障害圏であり、行動制御障害や発達障害とともに知的障害や統合失調症を併発している患者が37.5%を占める。

##### ・成人病棟

患者の平均年齢は、52.0歳である。主な疾患は統合失調症などの精神病圏の患者が58.3%を占めており、次に発達障害、気分障害、認知症、アルコール依存症などがある。

1病棟の平均在院日数は71.3日(平成30年度101.04日)と短縮した。6ヶ月以上入院患者2名が転院、1年以上新規入院1名が高齢者住宅へ退院し短縮に繋がった。薬物調整や休息、修正型痙攣療法などの治療効果により3ヶ月未満で退院する患者と1年以上の長期入院患者が約半数おり、患者層の2極化は続いている。

長期入院患者においては、慢性期で精神障害の状態が重く、さらに身体機能に障害を抱える患者が増加した。また高齢化に伴う肺炎・糖尿病など身体合併症を有する患者、薬の副作用に伴う身体機能の低下によりADLが低下し、生活全般に介助を要する患者が半数以上を占め介護度が高い状況である。そのため転倒転落、誤嚥・窒息などの危険リスクも高く、細かな観察と安全な環境調整を行っている。

#### (ウ) 治療・看護

##### ・児童・思春期病棟

薬物療法、個人精神療法が中心である。個別性を尊重し、保育士や作業療法士と連携し、遊びや学習を通して児童が本来持っている健康的な側面への働きかけを行っている。SSTワークや振り返りノートを導入し、個々の発達段階に適した関わりを行い、成長につなげていくことを目標に看護ケアを行っている。また、家族と情報交換を行い、個の特性に合わせたサポートが行えるよう家族教育、支援と共に、地域で適切な支援が行われるよう学校等の関係機関と連携を図っている。

##### ・成人病棟

薬物療法、個人精神療法、修正型痙攣療法、作業療法、心理教育プログラムを中心とした治療を実施している。治療的アプローチとして、全患者を対象に朝のミーティングを行い、日課の確認や生活上の課題など意見交換を行っている。

病状の不安定さや安全管理の視点から隔離や身体拘束を実施する場合には患者の安全に配慮し、時間毎の観察と週1回行動制限カンファレンスで早期の行動制限解除に向け取り組んでいる。また入院の要因を明確化し、個別支援に繋がるよう、毎週退院支援カンファレンスを実施している。長期入院患者に対しては、定期的な事例検討を実施し、家族の理解、協力のもと他機関、多職種と連携を図り、サポート体制を整備している。

作業療法士と連携を図り、リハビリテーションの視点から、楽しみの機会として病棟レクリエーションや、病気の理解を深めること、地域資源の情報提供、退院後の生活の意識づけに繋がるような多職種協働の心理教育プログラムなどを実施している。また今年度からは看護師主体のレクリエーションを開始し、患者と共に楽しみを共有する場として有効な機会となっている。高齢化や精神症状に伴うADL低下、合併症に対して、毎日の健口体操・転倒予防体操・口腔ケアの強化などを日課として取り入れ、身体機能の維持、向上を図っている。

看護は患者参加型看護計画で展開しており、計画の立案から評価までを患者とともにを行い、患者の思いを尊重した看護を目指して、関わっている。

10月より院内の病床数適正化を図るため1病棟は休床となり、2病棟と合併し協働してして動き始めた。3月より新1病棟として児童病棟と併せて再稼働した。

## イ 旧第2病棟（男女混合閉鎖病棟 45床）

### （ア）主な機能

隔離室4室、観察室1室、応急病床室1室、3床室5室、4床室6室を備える閉鎖病棟である。

主な役割は、スーパー救急病棟からの受け入れ、1病棟からの病状悪化患者の受け入れ、3ヶ月未満の再入院患者、転院患者の受け入れである。また、長期入院患者の病状安定と社会復帰支援の役割を担っており、幅広い対応が求められている。

### （イ）患者の状況

入院患者の約半数が統合失調症であり、次いで発達障がい圏、神経症圏、気分障がい圏などである。平均年齢は50.5歳で、平均在院日数は91.4日（平成30年度98.2日）と長期入院患者の退院により短縮した。

入院形態は半数以上が医療保護入院である。責任能力や現実見当能力は様々であり、薬物調整、修正型電気痙攣療法（m-ECT）、休息目的の入院患者は、3ヶ月未満で退院している。しかし、1年以上の長期入院患者は、統合失調症慢性期で精神障害の程度が重い傾向にある。高齢化に伴い、糖尿病・肺炎・高血圧等の身体合併症を有し、ADLの低下による転倒・誤嚥などのリスクが高く、介護度の高い状況となっている。

### （ウ）治療・看護

薬物療法、個人精神療法、修正型電気痙攣療法（m-ECT）、作業療法、心理教育プログラムが主である。

病状の不安定さにより、隔離や身体拘束を実施する場合があるが、時間毎の観察を行い、患者の安全確保に努めている。言動の変化、疎通性などから精神症状を観察し、行動制限最小化に向けた検討に取り組み、早期の行動制限解除に努めている。

長期入院患者に対しては、退院促進に向け医師、看護師、多職種が協働した定期的な事例検討を行い、具体的な方向性や可能性を確認し、統一した関わりを行っている。

リハビリテーションの視点で作業療法科と連携を図り、様々な病棟レクリエーションの実施、個人またはグループでの外出や調理・手芸、季節のお話をを行い、自信や達成感に繋げたり、楽しみの機会として取り組んでいる。病気の理解を深めることや退院を意識し現実的に考えられることを目指して、多職種、地域関係者とも積極的に連携し、心理教育プログラムやピアカウンセリングなども実施している。

医師による心理教育プログラムでは、病気を患者自身の問題としてとらえ、向き合う姿勢が見られる。また小グループでの活動は、自分の思いを表出する機会になっている。さらに退院に向けた支援会議や退院前訪問看護、社会資源見学など治療的雰囲気づくりに配慮しながら、患者自身が具体的に退院生活をイメージし、意欲が高まるように取り組んでいる。

看護は受け持ち性チームナーシングで個別看護を実践し、看護計画は患者・家族の思いをふまえ、立案から評価まで患者とともにを行い、患者参加型としている。また、患者の高齢化や合併症による転倒や誤嚥等に留意し、生活機能の低下予防のため、ふまねっと運動、朝の軽運動、健口体操、口腔ケアなどを日課に取り入れ、

身体機能の維持、向上を目指し活動している。  
2月より院内の病床適正化を図るため1病棟と合併し休床となった。